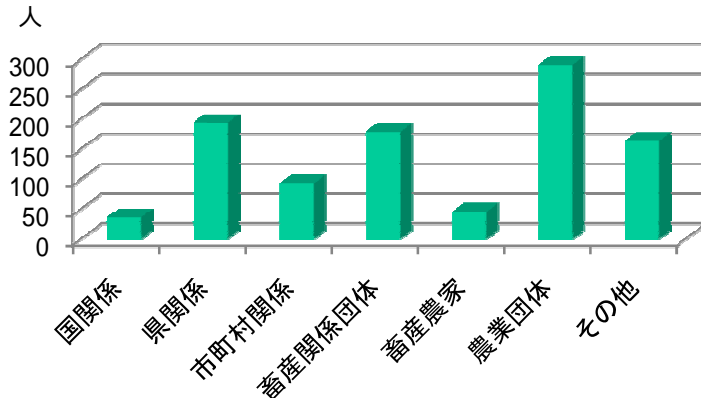


そろそろ1年、バイオガスプラント

平成20年4月、当場に設置されたバイオガスプラント(メタン発酵施設)が、そろそろ1年を迎えようとしています。

この1年の間に、数多くの視察者を迎え、県内唯一のバイオガスプラントとして、新技術として実証展示をしてまいりました。



視察受入れ結果

1年間で、78団体・1,003人の視察者を受け入れました。そのうち県外の方が約3割、畜産業に全く関係のない方(地域の自治体や環境に興味のある団体・個人等:グラフ内のその他)が約2割も来場していただき、畜産関係者のみならず、当場のバイオガスプラントが広く注目されていることが実感できました。

バイオガスプラントを運転して・・・

普及性・・・当場のバイオガスプラントの建設費は1億8千5百万円。電気と温水をまかないふん尿臭を低減できる施設ではありますが、個人の農家さんで簡単に導入できる価格ではありません。市町村や組合・団体等の共同で導入を検討する必要があります。

環境への配慮・・・このプラントの運転開始から2月までに発生したバイオガスは、およそ33,000m³であり、これを燃料に発電・発熱利用した場合、約4万kgのCO²を削減しました。これは、杉の木2,900本分の削減量になり、灯油に換算すると9,500リットルに値します。また、あわせてふん尿臭のない消化液(液肥)を生産できるため、畜産環境の改善にも役立ちます。

設置や機器の選定・・・このような施設に限らず、家畜排せつ物を処理する施設や機器を導入する場合には、いろいろな状況を想定して設置してください。特に、家畜のふん尿は季節や餌、敷料により、水分や粘度・形状が大きく変化し処理施設の能力の限界を超える場合があります。また、これらの処理施設が故障した場合や天候への対応策も検討しておかないと、毎日出てくるふん尿を処理できないという事態に陥ります。機器の選定や設置は、業者の意見は参考にし、実際に同じタイプの機器を導入している農家さんを訪れたり、専門知識のある方にアドバイスを受ける方がよいでしょう。

(畜産環境研究室 阿久津 充)

- - 毎月第3日曜日は「ふれあい育む家庭の日」です - -

酪農試験場だより No.133 平成21年3月19日発行

栃木県酪農試験場 〒329-2747 那須塩原市千本松298

TEL 0287-36-0768 FAX 0287-36-0516

ホームページ: <http://www.pref.tochigi.lg.jp/system/desaki/desaki/rakunoushikenjou.html>